

大腸菌由来のUDP-アセチルグルコサミン脱アセチル化酵素、組換え品

Cat. No. NATE-1537

Lot. No. (See product label)

はじめに

UDP-アセチルグルコサミン脱アセチル化酵素は、大腸菌由来の金属依存性脱アセチル化酵素

であり、UDP-(3-O-(R-3-ヒドロキシミリストイル))-N-アセチルグルコサミン (myr-UDP-

GIcNAc)3 の2-アミノ基からアセチル基を除去します。

別名 EC 3.5.1.-; 金属依存性脱アセチル化酵素; UDP-アセチルグルコサミン脱アセチル化酵素

製品情報

種 大腸菌

由来 大腸菌

形態 35 mM NaHepesバッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM

CaCl2、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール

EC番号 EC 3.5.1.-

分子量 36.0 kDa

純度 >SDS-PAGEによる評価で90%

濃度 1 mg/mL

最適pH 7.5

最適温度 30 °C

特異性 UDP-(3-O-(R-3-ヒドロキシミリストイル))-N-アセチルグルコサミン

保管・発送情報

保存方法 この酵素は常温で発送されますが、-20°Cで保存する必要があります。